

1-3. 受託調査研究

④4) 東京都心部における官民連携緑地ネットワーク形成戦略に基づく緑化推進方策検討調査

委託者：国土交通省都市局公園緑地・景観課

1. 目的

社会が成熟化し、市民の価値観も多様化する中、都市基盤も一定程度整備された近年においては、緑とオープンスペースが持つ多機能性を都市のため、地域のため、市民のために、そのポテンシャルを最大限に発揮させることが求められている。特に大都市都心部では、企業の社会貢献を促す関連制度が充実するとともに、魅力的な緑地空間が持つ集客効果が広く民間事業者等に浸透してきたことから、にぎわいの拠点となる広場空間や、生物多様性の確保に寄与する良好な緑の創出が進んでいる。

今後は、都市環境の保全・再生の観点に立ち、周囲の緑と連携した適正配置や良好な維持管理によって、緑豊かな都市空間のネットワーク形成を図るために、公共に加え、民間事業による緑地が連携した緑のネットワーク化や、その機能を一層発揮させるための維持管理によって、緑とオープンスペースのストック効果をより高めること、そのためにはエリアの官民の緑をネットワークさせるような緑化誘導施策等や、生物多様性保全等の経年的な緑地効果の発揮に関する質的評価等が求められている。

本業務は、東京都千代田区において、民間開発の先駆的取組みとして、緑のネットワーク機能の確立に向けた関係主体が協働で実施する仕組づくりについて調査・分析するとともに、官民及び事業者連携による広域的な緑地の機能発揮に向けたエリアを超えた連携手法、及び緑化誘導に資する緑の質的評価手法を検討することを目的とした。

2. 業務の概要

(1) モデルエリアにおける生物多様性連絡会（仮称）の運用実証調査

モデルエリアにおいて、行政、民間企業等によるモニタリング活動への参加機会の提供、情報交流の場となるような都市における生態系ネットワーク形成の支援基盤となる、横断的な人的ネットワークによるプラットフォーム組織の運用実証を行った。

- ・プラットフォーム組織となるエリア生物多様性連絡会設置にむけた準備会の開催
- ・ビル管理業務組み込み型のモニタリング実施手法の試行と検討

(2) モデルエリアにおける都市の生態系モニタリング等の手法の運用実証

多様な主体による生態系モニタリングを可能とするために、より簡易な方法で実施でき

るような、モニタリングのツールやモニタリング実施の支援の仕組みづくりの検討を行った。また、緑地ネットワークや質の把握に資するよう、モニタリングデータの蓄積と共通化のための仕組みづくりの検討を行った。

- ・ICTを用いた参加しやすいユーザビリティの検証
- ・利用シーン（業務組込型、市民参加型）に応じたカスタマイズの方角性の検証

（3）東京都心部の生態系ネットワーク等に配慮した緑の質的評価手法の検討

東京都心部の官民が連携した緑とオープンスペースのストック効果をより一層発揮させるために民間事業の緑地整備を誘導することを目的として、緑地の多様な機能確保とその配置等に加えて、質の高い緑の運営維持管理の継続性や情報発信性等による計画・運用の両側面での質的評価の手法を行った。

- ・官民連携緑地ネットワークに向けた資料収集と検討
- ・ケーススタディや事例研究による都市計画上の評価手法の検討
- ・都市計画に関する制度への緑地の質的評価の反映方法の検討